

はなぶさ

第四回 英の会

とき 2月12日(月・祝)・13日(火)

ところ 織元 小俣英之助記念館 豊中市本町4丁目7-28

■いまさら聞けない

着付けのポイント 10時～12時

■お手もち きもの×リフォーム

(洋服でなく、和服に)

染替、色さし等 13時～16時



会費 500円

2月10日(土)迄に

お電話で御予約の程

お願い致します

先着7名様まで

TEL: 06-6849-5298

幻のちぢみ結城紬と
おしゃれ帯展



●阪急豊中駅から織元本店へは徒歩4分・記念館へは徒歩10分
記念館へお車でお越しの場合はリパーク600が隣にあります

小俣英之助記念館 豊中市本町4-7-28

メモランダム

着物を気楽にお召し頂くために、僭越ですが、
自分流のきものとのつきあい方を、記させて頂きました。

衿 きもの姿が、ここで決まる大切なところです。

えもん
衣紋のぬき方、半衿を出す巾と、ふくらみ、合わせる角度、
色(白もいろいろあります)

やわらかく、ぴしっと決まると心まで引き締まります。

■ 半衿の付け方

背裏中心から、10センチ～15センチはきれいに、くけ付ける。
(おじぎをした時見える部分です)
あとは、3センチくらいのあらい針目で、半衿をつりめにつけて下さい。

■ 半衿のよごれの手入れ

たゞむ時、ベンジン又はリグロイン(薬局で売っています)を
揮発剤ですから、たっぷりつけて、ガーゼ、又はやわらかい布で、
首のあたった部分を、たたくようによごれを取って下さい。
3～4回着ますと、全体にうすよごれたような気が致します。
①その時は、衿をはずして普通の化粧石鹼で、ぬるま湯で
洗って下さい。(ししゅう衿は別です)
②陰干しして、
③半乾きの時、中温のアイロンをかける(押すように)
縮むこともありますが、気にしない。

半衿について、洗い方、付け方に疑問を感じた時、隨時
ご相談下さい。(無料)
忙しくて付けられない時(800円)で付けます。

きもの ■ 汗をかいた時、水で汚した時、ドライクリーニングでは
取れません。水又は石鹼で取れます。

■ 油よごれ、食べものよごれは、あわてないで、乾いた布 又は、
水をかたく絞った布先で押さえるようにふきとて御連絡下さい。
(湯は使わないように)

じばん 正絹じばんは中性洗剤で手洗い出来ますが、
不安な場合は御連絡下さい。

帯 基本的には、コシやハリが抜ける場合がありますので、
よごれた個所だけ、しみ抜き、汗とりをします。

その他 ■ カビ
白いうちは落ちやすいのですが、茶色く変色した場合、
むずかしいことがあります。相談下さい。

■ 正絹は虫が喰うことはほとんどありませんが、湿気に弱いです。
防虫剤より除湿剤をたんすに入れて下さい。
シリカゲル 2枚、1500円が便利です。

きものを大切に思う気持ちが強すぎて、ちゅうちょされがちですが、もっと気楽にお召し頂いて、より美しく毎日をお過ごしになられますよう、お祈り致しております。